

日 付 令和5年10月11日
担当所属 山梨県立笛吹高等学校
担当者名 教頭 坂本 篤
連絡先 055-262-2135 (内線 200)

笛吹高校 植物研究部
絶滅危惧植物キツネノカミソリの山梨県での新分布地を確認！

- 1 経緯と目的 令和5年6月、山梨県森林公園“金川の森”管理事務所より植物調査の依頼があり、調査研究を開始したところ、公園内に絶滅危惧植物のキツネノカミソリ（ヒガンバナ科）が生育していることが判明した。そこで、当面は本種の分布域を明らかにすることを中心に調査研究することとした。
- 2 日 時 令和5年6月～研究開始（調査研究継続中）
- 3 参加生徒 植物研究部 遠藤 花穂（2年）、柳澤 碧（2年） 他9名
- 4 内 容 これまでの調査研究で次の新知見を得た。
 - （1）キツネノカミソリの県内での新分布地を確認 本種は「2018 山梨県レッドデータブック」によれば、県西部を中心に5箇所分布が知られ県絶滅危惧Ⅱ類にランクされている。この度、金川の森において県内6箇所目の新分布地を確認した。
 - （2）ハマオモトヨトウの県内初の侵入・発生を確認 この蛾はヒガンバナ科を食草とする昆虫で、本来は温暖な沿岸地帯が分布地だが、近年、日本列島を北上し分布を拡大している。今回、(1)のキツネノカミソリの調査で、この蛾（幼虫）の本県への侵入・食害を県内で初めて公式に確認した。
 - （3）キツネノカミソリの保全を目的とする無菌培養系の確立 本種は無菌播種で容易に発芽することが分かり、保全技術としての無菌増殖系構築の目処が立った。なお、当部は南アルプスの高山植物保全研究や芦川スズラン群生地保全研究等により、各種大会出場や様々な賞をいただいた。今回の“金川の森”の研究においても興味深い知見を得た。上記の成果は今秋11月開催の2023 県高校「生徒の自然科学研究発表大会」（県高校芸文祭）において報告する。



左から：金川の森に生育するキツネノカミソリ（県内新分布地を確認）。金川の森でのキツネノカミソリの分布調査のようす。ハマオモトヨトウ幼虫（県内への侵入・食害を公式に初確認）。キツネノカミソリの種子発芽（無菌下での培養系確立）。

- 5 取材希望日時 ・火曜～金曜 16：00～17：00、部活動を行っております。
・教頭か下記担当（顧問）へ、お問い合わせください。
よろしくお願ひします。

（ 担当 植物研究部顧問 教諭 亀井忠文 ）